

お子様の輝く未来のために

金沢学院中学ボーイズが誕生

(ボーイズリーグ加盟予定)



チームポリシー

- 学校教育・部活動(野球部)の両輪で、学習とスポーツの両立ができる生徒を育成します。
- 「人間教育」を第一とし、学校内、グラウンド内ともに将来につながる礼儀、作法を身に付け誰からも愛される生徒教育をしていきます。
- 大学附属のメリットを十分に生かし、大学と連携しながら身体面、栄養面、心理面のサポート体制を確立し、長く活躍できる選手の育成に努めます。

練習スケジュール

曜日	時間	スケジュール			
月	16:00~19:30	練習休日(体のケア)※ノースロー			
火・水・金		打撃・守備・走塁練習	補食	トレーニング	片付け・着替え等
木		環境整備日 (練習環境の掃除を行う)	個人練習 (主体性を養う)	片付け・着替え等	※ノースロー
土	13:30~18:00	試合・実戦練習	補食	トレーニング	片付け・着替え等
日	8:00~17:30	試合・実戦練習	補食	トレーニング	片付け・着替え等



- 1 放課後はすぐに練習がスタートできる。
- 2 補食・トレーニングによって体づくりをしっかりサポート。
- 3 週2日ノースロー日を作り、投球障害を予防。
- 4 朝練習は行わず、睡眠時間を確保。
- 5 週休1日+環境整備、自主練習時間を設けて主体性を育てます。
- 6 中高一貫のため、高校入学まで練習を継続。

大学からのバックアップ体制

栄養面でのサポート

七尾由美子教授(健康栄養学科)

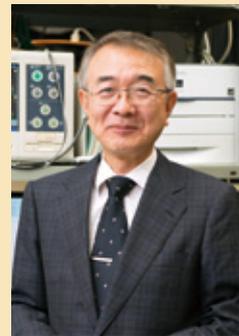
13歳ごろ(中学1年生)は男子の身長伸び率が最も高い時期にあたり、これを成長スパートといいます。この時期に適切な食事と練習メニュー・休養を組み合わせることが、高身長が有利な競技にとっては特に大切です。また、選手のポジション、練習期、試合期の食事についてもそれぞれポイントがあります。選手たちの健全な成長と健康の保持・増進、身体づくりに対し、管理栄養士が栄養と食育の面からサポートします。生徒のみならず、保護者の方にも子どもの成長につながる栄養アドバイスをいたしますので参考にいただければ幸いです。



身体面でのサポート

藤原勝夫教授(スポーツ健康学科)

中学時代は成長期であり、体調を崩しやすい時期でもあります。そのため、個人の体調を管理しながら、体力トレーニングを科学的にサポートします。特に、肩やひじの怪我を予防するためのトレーニング法を指導し、中学生から大学生まで怪我なく野球の技術向上を図れるようにし、長期間にわたって活躍できる選手を育成するサポートを行います。また、個人の特性を見極めて、それに合わせた走・投・打の科学的な技術指導を、現場の指導者と連携して行います。



心理面でのサポート

(教育心理学、発達心理学)

前川浩子教授(文学科心理学専攻)

10代の子どもたちが生きる「思春期」は、子どもから大人になるために必要なプロセスです。この時期に出会った人、経験したことによって、子どもは自分の価値観を作り、そして、自分自身を作り上げます。野球に取り組む経験から楽しさや喜びを味わうこともあれば、時には上手くできない自分に苛立ったり、仲間と比べて自信をなくしたり、妬んだりといった嫌な気持ちになることもあるでしょう。特に男子は女子に比べると、ストレスを感じた時に誰かに相談したり、助けを求めたりすることが苦手であるという研究も多くあります。私たちは子どもたちが困難に出会ったときの心理的なサポーターでありたいと考えています。子どもたちが打ち込む野球を通して、優しく、折れない心を持った素敵な大人になるためのサポートをお約束いたします。



硬式野球部からのサポート

角尾貴宏(大学硬式野球部監督)

金沢学院大学硬式野球部には140名を超える部員がおり、その中には将来、教員を目指す、野球指導者を目指す、或いは審判を目指す部員がいます。このような部員については、3年次からは現役選手として活動する一方で指導者養成コース、審判養成コースを設け、中学野球部の練習や試合に参加します。大学生も多くのことが学ぶことができ、学園としての相乗効果につなげます。



施設紹介



大学野球場 ※中学専用野球場を別途計画中



トレーニング場



屋内練習場